



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

シリア：首相の離反と新首相の指名

(各種報道のまとめ)

主席研究員 中島 勇

8月6日、アルジャジーラ放送は、シリアのヒジャーブ首相が政権を離反したと報道した。同日、シリア国営テレビは、ヒジャーブ首相が解任され、ウマル・イブラーヒーム・ガラワンジー（ガラワンジ）サービス担当副首相兼地方自治相が暫定首相に指名されたと発表した。

報道を整理すると、ヒジャーブ首相は、8月5日夜、ヨルダンに出国した。同人は、ヨルダンから別の国に移動する予定といわれる。移動先は、トルコ、カタルなどが取りざたされている。ヒジャーブは、報道官を通して、反体制派に合流するとしているが、まだ自分が公式にメディア出て、発言していない。ヒジャーブ前首相は、首相就任をしぶった際、首相ポストに就くか死を選ぶかと脅されたようだ。そのため同人は、首相就任直後から離反の準備を開始し、先に親戚を国外に出した後、5日の夜に、家族らと分散してヨルダンに入学したようである。首相の離反が確定されれば、アサド政権からの最高位の離反者になる。

シリア軍将兵の離反は、断続的に報道されているが、離反の全体像はよくわからない。8月1日には、アレッポに配備されていた機甲部隊の一部が車両とともに政府軍を離脱したと報道されている。5日には、シリア諜報機関の将校3人が離反し、ヨルダンに亡命した。また同日には、トルコのメディアが、87年にロシアの宇宙船に乗り、シリアで最初の宇宙飛行士になったムハンマド・ハリース大佐が、トルコに入学したと報道している。

離反者の増加は、シリア政府の内部亀裂を表すとの見方が多いが、離反の増加によってアサド体制が崩壊するとの分析は少ない。ただ、アサド体制が、さらに正統性を失い、シリア国民を代表するとの看板が色あせていくのは確実であろう。

新暫定首相の略歴

生年：1954年

出身地：ラタキア県ジャブラ（タルトゥースと推定）

学歴：ティシュリーン大学卒業

職歴：2008年9月～2011年3月 建設・住宅相

2011年4月～2012年6月 地方自治相

2012年6月～8月 サービス担当副首相・地方自

治相

2012年8月6日～ 暫定首相

家族：既婚、子供4人（男1、女3）

活動：2012年3月にEUが制裁対象に指定。